

化学療法計画書

ID				
氏名				
生年月日				
実施部署		発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)
				1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	乳癌
治療法	ハーセプチン+パージェタ+パクリタキセル併用療法

	1	2	3
抗癌剤・商品名	ハーセプチン	パージェタ	パクリタキセル
規格	60mg 150mg	420mg/14mL	30mg/5mL 100mg/16.7mL
一般名	トラスツズマブ	ペルツズマブ	パクリタキセル
一日投与量(規定)	8mg/kg(初回) 6mg/kg(2回目以降)	840mg/回(初回) 420mg/回(2回目以降)	80mg/m ²
患者情報から算出した 一日投与量	初回 400 mg 2回目以降 300 mg	初回 840 mg 2回目以降 420 mg	120.09 mg
実際の投与量	初回 400 mg	420 mg	120 mg
	2回目以降 300 mg		
投与日	初回 8 mg/kg		79.9 mg/m²
	2回目以降 6 mg/kg		
投与日	day1		day1,8,15
1クール期間	21日間		
予定クール数			
検査スケジュール	原則的に投与前に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施		

適応基準	HER2陽性の手術不能または再発乳がん
推奨 経口剤	○このレジメンは最小度催吐性リスク群です。静注、経口問わず制吐剤は不要です。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 3.重篤な骨髄抑制のある患者 4.感染症を合併している患者 5.本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤(例えばシクロスポリン注射液等)に対し過敏症の既往歴のある患者 6.次の薬剤を投与中の患者:ジスルフィラム, シアナミド, カルモフル, プロカルバジン塩酸塩
中止基準	投与前の好中球数:1500/mm ³ 未満、血小板数:100,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CLEOPATRA試験の投与基準に準拠)
副作用	<p>●ハーセプチン</p> <p>重大 1.心障害(心不全、心原性ショック、肺浮腫、心嚢液貯留、心筋症、心膜炎、不整脈、除脈等:頻度不明) 2.アナフィラキシー様症状(頻度不明) 3.間質性肺炎・肺障害(頻度不明) 4.白血球減少、好中球減少、血小板減少、貧血(以上頻度不明) 5.肝不全、黄疸、肝炎、肝障害(以上頻度不明) 6.腎障害(頻度不明) 7.昏睡、脳血管障害、脳浮腫(以上頻度不明) 8.敗血症(頻度不明)</p> <p>その他 1.発熱・悪寒(ともに27.7%) 2.無力症(19.8%) 3.悪心(19.4%) 4.疼痛(12.7%)</p> <p>●パージェタ</p> <p>重大 1.好中球減少症(50.9%)、白血球減少症(16.7%) 2.infusion reaction(8.8%) 3.アナフィラキシー(1.0%)、過敏症(9.3%) 4.間質性肺疾患(0.5%)</p> <p>その他 下痢(58.0%)、脱毛症(57.0%)、倦怠感(52.1%)、悪心(36.6%)、爪の異常(35.6%)、ニューロパシー(31.0%)、発疹(30.7%)</p> <p>●パクリタキセル</p> <p>重大 1.ショック(0.2%)、アナフィラキシー様症状(0.3%) 2.骨髄抑制(白血球減少(61.4%)、好中球減少(55.5%)、貧血[ヘモグロビン減少(30.7%)、ヘマトクリット値減少(5.0%)、赤血球減少(11.2%)等]、血小板減少(11.7%)、汎血球減少等、感染症[尿路感染(2.3%)、上気道感染(4.8%)、敗血症(0.9%)、帯状疱疹(1.0%)、肺炎(1.1%)等] 3.末梢神経障害(43.8%)、麻痺(0.1%)、片麻痺(0.1%未満)、不全麻痺(頻度不明) 4.間質性肺炎(0.5%)、肺線維症(頻度不明) 5.急性呼吸窮迫症候群(0.1%未満) 6.心筋梗塞、うっ血性心不全、脳卒中、肺水腫(以上0.1%未満)、心伝導障害(頻度不明)、肺塞栓(0.1%)、血栓性静脈炎(0.4%) 7.難聴(0.2%)、耳鳴(0.5%) 8.消化管壊死(頻度不明)、消化管潰瘍(0.1%)、消化管穿孔、消化管出血(以上0.1%未満) 9.出血性大腸炎(0.1%未満)、偽膜性大腸炎、虚血性大腸炎(以上頻度不明) 10.腸管閉塞(1.6%)、腸管麻痺(0.1%) 11.肝機能障害(4.0%)、黄疸(0.1%未満) 12.膵炎(0.1%未満) 13.急性腎不全(0.2%) 14.中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群(頻度不明) 15.播種性血管内凝固症候群(DIC)(0.1%) 16.腫瘍崩壊症候群(頻度不明) 17.白質脳症(可逆性後白質脳症候群を含む)(頻度不明)</p> <p>その他 脱毛症(92.3%)、発疹(37.6%)、爪の障害(20.4%)、感覚減退(76.8%)、味覚異常(12.7%)、浮動性めまい(11.0%)、疲労(70.2%)、浮腫(17.1%)、発熱(12.2%)、悪心(39.2%)、嘔吐(18.2%)、下痢(29.8%)、便秘(22.1%)、食欲不振(21.0%)、口内炎(17.7%)、筋痛(43.1%)、関節痛(39.8%)、鼻咽頭炎(18.2%)、体重減少(12.7%)、体重増加(10.5%)、高血圧(12.7%)</p>
備考	●投与開始前に心エコーなどでLVEFを測定すること→50%未満の際は投与について再度検討すること

ハーセプチン+パージェタ+パクリタキセル併用療法 観察記録①

所要時間: 初回5時間30分
2回目以降3時間30分

氏名: ID() 年齢: (才) XXXXXXXXXX

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()	
医師	指示医師: ハーセプチン (mg) 一般名(トラスツズマブ) パージェタ (mg) 一般名(ペルツズマブ) パクリタキセル (mg) 一般名(パクリタキセル)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加	
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与 開始時間	調剤
投与指示	本体	側管			
	生食250mL		初回 5時間30分かけて点滴【45mL/hr】 2回目以降 3時間30分かけて点滴【71mL/hr】		
	生食250mL+パージェタ		初回 60分かけて点滴【250mL/hr】 2回目以降 30分かけて点滴【500mL/hr】		
	本体を流しながら経過観察		初回 60分 2回目以降 30分		
	生食250mL+ハーセプチン		初回 90分かけて点滴【167mL/hr】 2回目以降 30分かけて点滴【500mL/hr】		
	生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 2 A +ファモチジン1A +ポララミン1A		30分かけて点滴【200mL/hr】		
5%ブドウ糖250mL +パクリタキセル		60分かけて点滴【270mL/hr】 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用			
本体終了後抜去					

ハーセプチン+パージェタ+パクリタキセル併用療法 観察記録⑧⑮

所要時間:2時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: パクリタキセル (mg) 一般名(パクリタキセル)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		2時間かけて点滴【125mL/h】	
		生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 2 A +ファモチジン1A +ポララミン1A	30分かけて点滴【200mL/h】	
		5%ブドウ糖250mL +パクリタキセル	60分かけて点滴【270mL/h】 ※ フィルター付き 点滴ラインを使用	
本体終了後抜去				